夕刊 磐城新聞 三月五日發行
第五千七百六十二號 (一) 磐城新聞 (水曜日) 昭和十九年三月六日 (大正十年十二月二十日第三種郵便物認可)

新聞事業の先覺者
——小栗上野介について——
阿部生

小栗上野介が幕末國政多事加ふるに外交問題の處理更に國防緊急なる時に當つて、あらゆる方面に歐米の文化を我國に急ぎ輸入し、國家をして泰山の安きに置かんと努力したことは折時の史家の共に賛する所である。

或ひは佛國式三兵主義を採用して訓練にあたらしめ旗本部屋住(次男以下)の子弟を徴募してこれに當らしめ、我が國、徴兵制度の端を開きたるが如き、優秀なる兵器を英佛より輸入し我が陸海軍兵器を强化せしめたる、又軍馬改良としてアラビヤ馬を輸入したのも彼である。或ひは横須賀に一大船廠を起し、我が海軍の基礎を築きたるが如く或ひは内外金銀相場に着目我國小判の品位三倍に昇せ日本の貨幣の海外流出を防ぎたるが如き、彼の事業を探究すれば、日本國民として當時に於て驚くべき政策を抱懐し、實行したるは一代の英傑として瞻仰すべきである。

今私は、世人に餘り知らざる然も文化人として一日も缺くべからざる、今日の新聞業の先驅者であつた一面を弘く世人に紹介したいと思ふ。

前述せる如く彼の達識は明治文化の礎石となつたものであるが、これらは、全く萬延元年かの有名なる遣米使節全權として八十一名の下僚を引き具して渡米し更に歐洲の風物を秘かに見聞視察から得て我國にとつて有益にして且つ偉大なる事蹟と云はなければならない。

この一行には勝海舟と、福澤諭吉が加はつてゐた(咸臨丸)小栗はこの福澤に眼をつけた。歸朝後彼は我國の國防及び内政の貧弱なるに際したことは論ずる迄もあるまい。岩倉が明治初頭歐米巡視から戻つて征韓論を排したのとはわけが違ふ、やれ勤王だ、攘夷だ、佐幕だ、開港だ、鎖國だ、歐米人は夷狄だ、こんな思想の内に、密勅だ奉勅だ、國内思想は混亂の極であつた、小栗の眼は強く悲哀を感じたのはこの混亂とその統一であつた。(續)

大陸の春
小山田穣

硝煙に染まつた 木々が
曠野にはりめぐり大きい
世界を宣言してゐる。
馬車にのつかつた外人が
新しい光の匂ひをかぎつつ通つてゆく
見渡す限りの涯さからくる、
澄んだ瞳にうかんでくる
大陸、
たのもしい、新しい家庭をつくるもの、
形となつて うかびあがる、
沃土がつづく大陸の氣力を喫ひ、
その匂ひを喫つて私はいま現實の
足もとにひびく祖國の生命の、
鼓動をきいてゐる。

3月6日
△金輪城落城新田義顯戰死す、延元二 △營口占領(明治二八)△上海共同租界當局テロ首領を我方に引渡す(昭和一四)

○
天國に昇る梯子は人に愛せる狀なり
アリス・カレー

講談 夜嵐お絹 (10)
悟道軒圓玉 談
筒井直衞 畫

番頭の幸助は小春を見て吃驚したが、

「オヽ、小春さん、無事でゐなされたか……」

「生きてゐてはお前さんの氣には入るまいが不思議に命が助かりましたよ、すんでに鮫の餌食ゃならうとしたを神様のお加護か荒井の岸に打ち上げられ、此の房吉さんに助けられ、荒井の親分茂平さんのお世話になり、何うやら人並の身体になり、今度此方まで出來ましたが强請やかたりぢゃアありません、何う云ふ心算でわたしを海に突き落したか、その譯を訊きに來たのさ、若旦那が今度お嫁さんを娶るにつけ、わたしが邪魔になるからとお前さんに云ひ附けてあんな邪慳な事をしたか、それとも斯んな女を伴れて行つては若旦那のお爲めにならぬと突き落したか、さアその仔細を話して下さい、モシ番頭さん默つてゐては判らないぢやアないか、何とか返事を聞かしておくんなさい、お前さんは……律儀さうな顏をしながら鬼のやうな人だねえ」

とホロリと涙を流した

側に居た房吉が、

「オイ番頭さん、お前が此の女を突き落したならば刃物を持たねえ人殺し、それとも主人の云ひ附けで非道な殺生をした事か、オイ判然返事をしてくンねえ」

云はれて番頭の幸助はオド〳〵しながら、

「何うぞ少々お待ち下さいまし」

「お待ち下さいと云ひなさるが、此の返事は何うするつもりだ、富士の山の見ねえ土地で育つた氣の長ね上方贅六とは違ひ、關東者には氣が短けえ、サッサと譯を聞かして下せわ」

「イヤ御立腹なさるはさら〳〵御無理とは思ひません あれは主人の云ひ附けで致した事ではございません」

「それではお前の一存でした事かさりとは怖ろしい……」

「イエ〳〵、何んでわたくしがその様な事を致しませう、小春さんが景色に見惚れて、船端へ出ましたのでこれは危ないと帶を押へて居ました時、打ち寄せる波で船が傾きまして……」

「それで此の女が海へ落ちたと云ひなさるか、然しそいつはお前の云ひ拔けだ、突き落したに相違ねえ、オイ番頭さん店先で大きな聲を出したくはねわが、お前の爲方があこぎだから凄い科白も並べるんだ、何とか目鼻をつけてくれれば平和く解決る事もある、のう番頭さん、お前もこれだけの屋台骨の支配をする人だ。俺たち二人に笑ひ顏させる事も知つてゐる筈だ。オイ能く考へて見ねえ」

と摺り寄つた。

此の時當家の若主人の吉之助は想ふ女の小春が來たと聞いて中仕切りの暖簾の間からソット店を見たを早くもそれに目をつけた小春

「若旦那お懐かしうございます」

驅け上らうとしたを引き止めた房吉

「ヤイ〳〵」何處へ行くんだ、てめねは一人者もねわぞ、俺と云ふ亭主がある亭主の許しも受けず、あの色のなまッ白いい日蔭に出來たかぼちゃ野郎の傍へ行くナ、エイ此方に居ろ」

と引き据ゑる。

其時、ハイ御免なさいと表から入つて來たは、年頃六十格好になる色の淺黑い肥れた人物、薩摩絣の單衣に八端の帶を締め、松皮印傳銀鎖に象牙の根付のついた煙草入れを下げた、その服裝より察するに此の邊での顏役であらうか、堂島の駒下駄をそれへ脱ぎ棄て店へ上つた、これは親分お出でなさいまし何うぞ奥へ……と店の者が云ふ、只今御迎ひであつたが何んぞ御用かのと房吉と小春を尻目に睨み奥へ通る。

其時吉之助が「親分イヤもう意外な事が湧き上りまして私も申すまでもなく番頭も困つて居ります」

「ハテネ、とんだ事とはどんな事だネ」

產婦人科 專門
根本醫院
平市南町
(入院隨時) 電話三四番

產婦人科
井坂醫院
平市田町 電五五九
見習看護婦入用

おでん たつた揚 やきとり
一平
電話二六三番

田毎のみつまめ
白蜜と赤蜜 あんみつ 苺ミルク
電632 田町

生徒募集
一、本校教育の要旨
本校ハ實業學校令職業學校規定ニ依リ(女中子等學校)女子ニ須要ナル裁縫手藝、學科及高等普通教育ヲ施シ兼ネテ德性ヲ涵養シ地方有爲ノ子女ヲ養成スルヲ以テ目的トス
二、募集人員
1、本科 一年(三ケ年卒業) 五十名
2、裁縫專修科 一年(二ケ年卒業) 百名
3、師範科 (二ケ年卒業) 二十名
4、專攻科 (一ケ年卒業) 三十名
5、本 裁縫專修科 二年(補欠入學) 若干名
6、「附設」洋裁科 (六ケ月修了) 二十名
三、卒業生の特典
本校、本科、師範科、專修科ノ卒業生ハ高等女學校卒業生ト同ジク專門學校ニ入學スル資格並ニ中等教員受驗資格ヲ得ラレマス
四、入學手續
右各科共入學ヲ許ス志願者ハ本校規定在學證書ニ適當記入捺印ノ上二月一日ヨリ三月三十日迄ニ平市藤田女學校ニ提出シナサイ
追而提出書類考査ノ上證書受附ノ順ニ依リ入學ヲ許可致シマス
◎詳細ハ本校宛學則請求ナサイ(返信料參錢封入)
福島縣平市田町
文部大臣認可 藤田女學校 電話三二八番

素人工員至急募集
一、募集人員 百名
希望者ハ履歴書壹通持參又ハ送附ノコト
採用者ニハ旅費ヲ支給ス
一、資格 年齢十六才ヨリ四十三才マデ(學歴不問) 身体强健ノ方
一、收入 初給月收四十圓ヨリ八十圓 [年齢ニヨリ相違ス]
一、見習期間 一ケ月乃至三ケ月後ハ正工員トシテ高給優遇ス
一、待遇 一、昇給年貳回 一、賞與年貳回 一、公休日貳日 一、皆勤賞與每月支給 一、殘業手當支給 一、被服支給
技術優秀者將來月收百圓以上幹部職員昇進
一、福利施設 寄宿舎無料、入浴無料、種々ノ体育設備、修養娯樂施設アリ、大食堂、賣店完備 診療所無料診察(家族實費診療) 青年學校、技術員養成所アリ 卒業者ハ將來社員ニ登用ス
最新式諸設備完整大化學工場
小名濱灣ニ臨ミ附近風光明媚健康ニ最適地ナリ
福島縣石城郡小名濱町
日本水素工業株式會社 小名濱工場 電話(一一九番 二四三番)

能食！ 能便！ 能眠！ 能働！
便秘の害ほど
怖しいものはありません。頭痛、メマヒ、耳鳴り、息切れ動悸、不眠も、吹出物も、記憶力や活動力の減退も、十中八九は便秘の害であります。子供はヒキツケさへ起します。御婦人は色艶を失ひ、ヒステリーの主因となります。大人は、ぐんぐん老衰を早め——ひいては、高血壓や腦溢血の原因にさへなります。これは皆、便の中毒なのであります。
しかし下劑の服用は、習慣性となり、胃腸を害します。それよりも、消化を助け、排泄を促がす各種の強力酵素とヴィタミンBの働きによつて快心の便通を齎らすミクローゼの御試用を、確乎たる自信を以てお薦め致します。
ミクローゼは星製藥が研究十八年、酵母劑にまさるの確信を得て發賣した日本固有の綜合ビルツ有効藥劑であります。
胃腸強生
酵母劑の上を行く！
粉骨十八年の研究の結晶 前京都帝大醫學部助教授・醫學博士 豐島豐次郎先生
ミクローゼ
一ヶ月分 三六〇錠 一圓五〇錢
星製藥株式會社 東京 五反田

春暖の候に入つて 皮肉な木炭出廻り
東京方面は依然拂底

地方に於ける長い間の木炭飢饉は搬山用トラックのガソリン節約に對する機宜の運用等から最近皮肉にも漸次温暖の季に入ると共に大体順調に出廻りはじめ、品の潤澤から來る闇取引の解消その他、一時可なり深刻化した木炭恐慌は平市を中心として頃來著しく緩和されてゐるが 東京方面の品不足は今尚ほ依然たるものあり、地方の關係筋を頼つてその注文が引きも切らず市役所構内に在る木炭檢査平支所では本縣木炭配給統制規則施行細則に基く縣外移出許可證の下附に忙殺され、昨今の同所はこれら申請人が殆ど跡を絶たぬ程である

右の場合は「移出を必要とする事由」として「贈答用」等を掲げ一件三十貫を限度として申請出來る事になつてゐるが、當局では此際成るべく廣範圍の希望を容るる方針から大てい二三俵（八貫乃至十二貫）程度の出荷票を交付してゐる

産馬組合豫算

石城産馬畜産組合では六日十五年度豫算を協議するが總額九千七百五十九圓

質草に貯蓄債券
好況をよそに大繁昌 公益質屋の昨今

昨年十一月八日店開きした市の公益質屋は好況の昨今ながら利用者多く、なにやかやでた金の要つた舊正以降は一層の繁昌振りで佐藤馬目の兩番頭さん、引つ切りなしの倉通ひにスツカリ汗だくの態、開店以來二月末迄の累計は

（入質）四百三十一人、千四百四十一點、貸出額五千四百十一圓七十錢

（受出）百四十九人分、四百八十九點 千七百九十一圓十錢

（利子）二十九圓六十錢

今月一日の興亞奉公日は遂に開店以來の記録でその取扱ひ十八人五十二點で二千二百九十六圓に上つた、利用者は依然中小商工業を筆頭に勞働者、俸給生活者の順でインフレの農家からはまだ一人もノレンを潜つてゐない、質草は衣類が一番でそろ〳〵冬着の入質に季節の移りを見せ尚ほ時には債券なども入るといふ、一、二月分の取扱ひ數左の如し（カツコ内受出）

△一月 八〇名（四一名）二五二點（一一六點）貸付九〇八圓七〇錢（四五四圓一〇錢、利子六圓四十二錢）

△二月 一四五名（六八名）五四四點（二七七點）貸付二、二二九圓八〇錢（九四九圓三〇錢、利子一八圓六三錢）

雇入令講演
けふ公會堂で

平職業紹介所では今月一日から實施の青少年雇入制限令の趣旨徹底を目的に今五日午後一時から市公會堂で本間にこ、が講演會を開き立澤所長並に渡部平署長から内容を話した

寄附

今月も「一市民」として市銃後奉公會へ金一圓寄附あつた

婦人會で「母の會」
あす地久節の催し

平婦人會では明六日の地久節に午後零時半から平館で母の會を開き篠山第一小學校長の講演やニユース映畫其他を映寫して銃後の母としての自覺を深めることゝなつた

只飲み常習男

渡邊村田部生れ坑夫前科五犯永山治雄（三八）は去月二十二日夜内郷村宮料理屋福島亭こと横山草三郎方で十三圓餘の無錢遊興をして平署から送局された、同人は只飲み常習で去一月宮城刑務所を出獄したばかり

お披露目

市の花柳界としては青少年雇入制限令實施後最初の實例、昨日吉野家から半玉「小紅」が出現した

衆議院議員選擧有權者 千七百餘名增
第三區一市三郡の膨脹

縣下の衆議院議員選擧有權者は政局の動きから萬一に備へ昨年十二月二十日現在を以て調査したが合計三十萬千九百十七名中第三區は

平市	五、三〇九
石城	四二、一一五
双葉	二二、四〇九
相馬	一九、七三六
合計	七九、五六九

で前期に比し千七百五十七名の增加を示して居る。因に全縣下の增加は二千四百二十名で四市十七郡中第三區が增加數の實に七割二分六厘を占めて居る

市農會豫算
主力を生産擴充へ

市農會では十七日午前十時評議員會、午後一時總會を何れも市會議事堂に開き十五年度新豫算を附議する、總額三千五百圓で銃後生産擴充に主力を注ぎ二千六百年記念事業として梅の苗木を無償交付將來に備へる

殘す處僅かに廿餘日
漸く迫つた中等學校入學考査に 緊張加速度的に深まる

制度改正後最初の中等學校入學考査は愈よ今後僅かに二十餘日の目前に迫つた。殘り少なの試練日に受驗者及父兄の關心は加速度的に深まるばかりで各方面を通じて近來寄ると障るとその話で持ち切りの有樣である 無試驗に便乘し、萬一を僥倖せんとする程度で最初から物にならぬ相當數が交ゝにせよ、何がさて男女三校を通じて九百餘名が篩ひ落されねばならぬ今回のそれは、學術優等身体强壯而も所謂德件の三拍子を兼ね備ふる受驗者を除き、水準君はそれ以下にあつては假令學科に自信があつても駄め安心と云ふわけには行かず、大小深淺の差こそあれ何れ若干の憂鬱無きを得ない樣である。小學校の內申による千六百兒童の運命は既に玉手箱に秘められて今更どうにもならなくなつた殘されたる爾餘の二問題が果して如何なる態樣に於て受驗者の努力の上に反映するであらうか危い當落の稜角に最後の死闘を續けねばならぬ昨今の年少子女こそ世にも傷ましさの限りである

軍人援護事務講演

平市並に石城郡下の軍人援護事務に關する講習會は二十、二十一兩日市公會堂に吏員及び警察擔任者が出席する

。。。。自轉車泥・磐崎村藤原坑夫遠藤友治（二八）は昨年十月同村北郷良平の自轉車一台（五十五圓）を盜んだこと發覺平署に檢擧された

諸虫漸く冬眠を破る
あす愈よ歷面の啓蟄

つい兩三日前迄空つ風に慄え上つて居た處が今年も明六日が「啓ちつ」太陽の黄經が三四五度になり、桃始華倉庚鳴、鷹化爲鳩と稱し蟄虫漸く冬眠を破つて活動を始め地上次第に春めき渡る季節に入つた。初めて手にする新調の學用品に笑む新入學生、血みどろの思ひにその日を待つ受驗生、學事方面に明暗兩相を描き出すこの彌生月こそ明るくも亦慌しい季節である。時局柄ではあるが月の終り頃ともなれば官店の貸地などが取り決められ、非常時下のりを踰わぬ程度に花の仕度に取り掛る事であらうと觀られる

平市慶弔録

△出生 上平窪字上岡二三酒華美雄氏四男雅司君、本籍四軒町二二湯本町八仙三八大枝諸氏三女三枝子さん、本籍四軒町四朝鮮黄海道鳳山郡沙里院邑駒泉里六七香野政質氏四女純子さん、本籍才槌小路九磐崎村湯長谷宇長倉七二菅野好男氏長男光晴君

○婚姻 勿來町窪田字小島一六六北郷章氏（三六）と材木町四四鈴木知代子さん（二〇）、本籍立町一二滿洲國四平街市南二條通三八番一〇の二橋二郎氏（三三）と熊本縣八代郡八代町字荒神丁一九一澤田ツヨさん（二七）

▲死亡 本籍市内大阪市東成區片江町五一五石川勝司氏（三六）、本籍仲間町四〇大森區堤方町一六〇鈴木ケイさん（五二）、本籍南町三四埼玉縣秩父郡秩父町大宮一、五六六ノ二根本イヨさん（五三）、中平窪字高儘二高木カネさん（五三）、鍛冶小路三二木村ミエさん（七二）

指華微笑

新熟語三炭、六菖、十菊春氣さしての木炭出廻り

□ 落第づれ九百二十餘名。世はなさけの對句になりさうも無い

□ 地膨れ一人分程市郡下の衆議院議員選擧有權者が殖えた。結構

□ 質草に債券、最後迄賢るまい心意氣が嬉しい

□ 赤井の遠山なみ霞すむ。あす啓蟄千手觀音など活動開始か

舊正月二十七日 水曜 戊申 佛滅 執 箕宿　新三月六日

▲一白 不安心の日進まんとすれば却つて凶を見る▲二黑 發展する日心を引締めて進めば大吉日なり▲三碧 家を建つるには地盤より家の根本を確めよ▲四綠 無理をせず心靜かなれば自然の發展ある日▲五黄 一念は生ずとも二念は生ずな志に確ことたれ▲六白 社交上に注意せざれば意外の損かうあるべし▲七赤 一くわく千金を計らず堅實に地歩を確めて行け▲八白 流水はくさらず氣永に計畫を進めば端緒開く▲九紫 心定まらずして不安心なり然どれも平穏日

六日【小名濱測候所觀測】滿潮 前三、五〇 後二、二五 干潮 前九、一〇 後九、二〇

天氣豫報 小名濱測候所觀測
今晩 南東の風曇 小雨
明日 南東から北西の風曇

大火に備へ
警防團で組織訓練

市警防團では九日縣下一齊に行はれる防火デーに團員總動員の下に大火を假裝しての大演習を行ふ、從來の消防は火災が廣範圍に亘つた際の消火訓練が極めて幼稚だつたのに鑑み大火に備へて組織訓練を行ふもので過ぐる靜岡市の大火視察による新智識なども得て居ることゝて今後の活用が期待される

町村事務指導
市公會堂で

平市並、石城郡下の銃後町村事務講習會は二十、二十一兩日市公會堂に開く、これは銃後援護事務など町村の仕事が非常に複雜多岐に及んだのに鑑みその萬全を期するためでこれには關係警察官も加はる

陣中を聽く
(721)

落下傘の主はソ兵 見るからに憎らしい
元入山從業員 橋本龜吉君（信通）

先頃〇〇地に討伐に行途中〇〇地に小憩して居る時數臺の飛行機が編隊して自分達の眞上を飛んで行きました。それに少し遲れて一臺の飛行機が機尾より煙幕樣なものをまきながら飛んで居るのを珍らしく見て居るうち、一つの白いものが飛出し上空に浮び出した、其内機體から火が見ね出しアツヤと云ふ瞬間火焔に包まれ、眞逆樣にスバラしき音響と共に墜落した、機體は墜落後も燃ね續いて居た。落下傘は次第に地上近く下りて來ます、そこへ友軍の飛行機が落下傘見かけて機關銃を打つのが見ねました。落下傘は地上に落ち私達がかけよつて見れば飛行機は支那機であつて落下傘より飛び出したのはソ聯の機士で、見るからに憎らしい感じがしました。

責務を痛感
市内柳町出身 小野五郎君

嚴寒の候益々御健勝の段奉大賀候（路）お蔭樣を以て無事一路恙く任地に到着の上日々軍務に精進致し居り候間乍他事御休心下され度候。任地は晝は暑く夜は寒しの特殊の氣候にて凌ぎ難きもの有之候。今し我れこの大陸に立ちて其の任いや重く、その責いや大なるを痛感すると共に感激の思ひ出るもの有之候。只此上は一意任務に精進し以て各位の御厚情の萬分の一にも酬ゆる覺悟に御座候。今後とも宜しく御指導御鞭撻伏して奉願上候。先は不取敢御禮旁々御挨拶迄如斯に御座候

植田將軍
珠雲 小野務平

出戰督軍威武揚
鴻業赫奕萬人望
即今欽命任參議
努力欲開興亞基

開店披露

吳服類 洋品類 必需品

私儀吉田屋吳服店在店中ハ御厚情御引立を蒙り深く御禮申上ます今般別家いたしまして來三月一日より開業いたします。何卒御聲援を御願いたします。

平四丁目（郵便局前）
㊅山吉商店
店主 吉田政之助 電話二六八

謹啓 寒氣殊に甚だ凌ぎ難く御座候
特別の御ひいきを蒙り深謝申上候、永年營業に協同致し御引立に預り申し候政之助事今回四丁目局前に獨立開店致す事に相成り申候間何卒弊店同樣御引立願上候。目下の時節柄日頃の御厚情に甘ね特に懇願申上る次第に御座候。先づは御願迄 敬具

昭和十五年二月
平市鍛冶町
合名會社 吉田屋吳服店
吉田由三郎

他店で御氣に召さぬ時に是非一度
——常磐線東京仙臺間であらゆるクリーニング機械設備の揃つてゐる……
純ドライクリーニング 西洋洗濯
田町 白榮舍ランドリー
正直なる仕事と優秀なる技術を望まるゝ方は
設備平市第一の
白榮舍ランドリー

●新聞配達さん募集
尋常六年、高等一年位
市內居住者に限る
磐城新聞社

耳鼻咽喉科專門
平市南町一六番地
大和田醫院
電一七〇番
（入院隨意 病室完備）

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体温器 寒暖計
秤ノ取扱 垂系・錘 縮尺シマス。
關內藥局 電話四〇番

純綿利用加工時代！
染め物は
質實と技術の優秀を誇る
迅速 叮嚀
吉田屋染工場
平市五丁目 電話五五八番

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下電六七四